

レジメン名称	【再発難治】D-Ld療法 (1-2サイクル目)			
癌腫	多発性骨髄腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	カロナール ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラキьюロ	1800mg/body	sc	3-5min	day1.8 15.22
デカドロン	20mg/body	po	–	day1.2.8.9 15.16.22.23
レブラミド	25mg/body	po	–	day1-21
備考 ダラキьюロ投与開始1時間前にカロナール・ポララミン・デカドロン投与。レブラミド腎機能・毒性に応じて調節				

DMPB療法（1サイクル目）				
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	備考参照	
総コース数	–	プレメディケーション	カロナール、ポララミン、デカドロン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラキьюロ	1800mg/body	sc	3-5min	day1.8.15 22.29.36
ボルテゾミブ	1.3mg/m2	sc	ゆっくり	day1.4.8.11 22.25.29.32
アルケラン	9mg/m2	po	–	day1-4
プレドニン	60mg/m2	po	–	day2-4
備考 ダラキьюロ投与開始1時間前にカロナール、ポララミン、デカドロン内服				

DMPB療法 (2-9サイクル目)				
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	備考参照	
総コース数	-	プレメディケーション	カロナール、ポララミン、デカドロン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラキьюロ	1800mg/body	sc	3-5min	day1.22
ボルテゾミブ	1.3mg/m2	sc	ゆっくりと	day1.8.22.29
アルケラン	9mg/m2	po	-	day1-4
プレドニン	60mg/m2	po	-	day2-4
備考				
ダラキьюロ投与開始1時間前にカロナール、ポララミン、デカドロン内服				

レジメン名称	DMPB療法（10サイクル目以降）			
癌腫	多発性骨髄腫	1コース期間	備考参照	
総コース数	–	プレメディケーション	カロナール、ポララミン、デカドロン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラキユーロ	1800mg/body	sc	3-5min	day1
備考 ダラキユーロ投与開始1時間前にカロナール、ポララミン、デカドロン内服				

レジメン名称	E-Ld療法 (1.2サイクル目)			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	デキサート、ファモチジン、カロナール、ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
エムプリシティ	10mg/kg	div	0.5mL/min-5mL/min	day1.8 15.22
デカドロン	28mg/body	po	–	day1.8 15.22
レブラミド	25mg/body	po	–	day1-21
備考				
レブラミド腎機能・毒性に応じて調節。エムプリシティ投与1時間前にデキサート、ファモチジン、カロナール、ポララミン投与。				

レジメン名称	E-Ld療法（3サイクル目以降）			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	デキサート、ファモチジン、カロナール、ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
エムプリシティ	10mg/kg	div	0.5mL/min-5mL/min	day1.15
デカドロン	28mg/body	po	–	day1.15
デカドロン	40mg/body	po	–	day8.22
レブラミド	25mg/body	po	–	day1-21
備考				
レブラミド腎機能・毒性に応じて調節。エムプリシティ投与1時間前にデキサート、ファモチジン、カロナール、ポララミン投与。				

レジメン名称	KRd療法（1サイクル目）			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	－	プレメディケーション	－	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
カイプロリス	20mg/m2	div	10min以上かけて	day1.2
カイプロリス	27mg/m2	div	10min以上かけて	day8.9 15.16
デカドロン/デキサート	40mg/body	po/div	－	day1.8.15.22
デカドロン/デキサート	4mg/body	po/div	－	day2.9.16
レプラミド	25mg/body	po	－	day1-21
備考 レプラミド腎機能・毒性に応じて調節				

KRd療法（2-12サイクル目）				
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	-	プレメディケーション	-	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
カイプロリス	27mg/m2	div	10min以上かけて	day1.2.8.9 15.16
デカドロン/デキサート	40mg/body	po/div	-	day1.8 15.22
レブラミド	25mg/body	po	-	day1-21
備考 レブラミド腎機能・毒性に応じて調節。1サイクル目のday2.9.16のDex 4mgは必須、2サイクル目以降はカイプロリスに関する発熱・悪寒等生じた場合は継続。				

レジメン名称	KRd療法（13サイクル目以降）			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	－	プレメディケーション	－	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
カイプロリス	27mg/m2	div	10min以上かけて	day1.2 15.16
デカドロン/デキサート	40mg/body	po/div	－	day1.8 15.22
レブラミド	25mg/body	po	－	day1-21
備考 レブラミド腎機能・毒性に応じて調節。1サイクル目のday2.9.16のDex 4mgは必須、2サイクル目以降はカイプロリスに関する発熱・悪寒等生じた場合は継続。				

レジメン名称	Kd療法（1サイクル目）【週1回投与法】			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	–	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
カイプロリス	20mg/m2	div	30min以上かけて	day1
カイプロリス	70mg/m2	div	30min以上かけて	day8.15
デキサート	40mg/body	div	30min	day1.8.15
デカドロン	40mg/body	po	–	day22
備考				

レジメン名称	Kd療法（1サイクル目）【週2回投与法】			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	–	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
カイプロリス	20mg/m2	div	30min以上かけて	day1.2
カイプロリス	56mg/m2	div	30min以上かけて	day8.9 15.16
デカドロン	20mg/body	po	–	day1.2.8.9 15.16.22.23
備考				

レジメン名称	Kd療法（2-9サイクル目）【週1回投与法】			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	–	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
カイプロリス	70mg/m2	div	30min以上かけて	day1.8.15
デキサート	40mg/body	div	30min	day1.8.15
デカドロン	40mg/body	po	–	day22
備考				

レジメン名称	Kd療法（2サイクル目以降）【週2回投与法】			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	－	プレメディケーション	－	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
カイプロリス	56mg/m2	div	30min以上かけて	day1.2.8.9 15.16
デカドロン	20mg/body	po	－	day1.2.8.9 15.16.22.23
備考				

レジメン名称	Kd療法（10サイクル目以降）【週1回投与法】			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	-	プレメディケーション	-	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
カイプロリス	70mg/m2	div	30min以上かけて	day1.8.15
デキサート	40mg/body	div	30min	day1.8.15
備考				

Ld療法				
癌腫	多発性骨髄腫	1コース期間	28日間	
総コース数	PD(増悪)まで	プレメディケーション	-	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
レブラミド	25mg×1	経口	-	day1-21
デカドロン	40mg×1	経口	-	day1.8.15.22
備考 レブラミドは21日間連続経口投与した後、7日間休薬。 高脂肪食摂取後の投与によってAUC及びCmaxの低下が認められることから、高脂肪食摂取前後を避けて投与することが望ましい。妊娠回避の徹底。				

MP療法				
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	PD(増悪)まで	プレメディケーション	—	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アルケラン	8mg/m2	経口	—	day1-4
プレドニン	60mg/m2	経口	—	day1-4
備考				
アルケランは食事の影響を受けやすく、Tmaxが遅延し、AUCが減少することから食前投与が望ましい。				

Pd療法				
癌腫	多発性骨髄腫	1コース期間	28日間	
総コース数	PD(増悪)まで	プレメディケーション	-	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ポマリスト	4mg×1	経口	-	day1-21
デカドロン	40mg×1	経口	-	day1.8.15.22
備考 ポマリストは21日間連続経口投与した後、7日間休薬。 高脂肪食摂取後の投与によってAUC及びCmaxの低下が認められることから、高脂肪食摂取前後を避けて投与することが望ましい。妊娠回避の徹底。				

レジメン名称	Weekly MPB療法			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	35日間	
総コース数	–	プレメディケーション	–	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ボルテゾミブ	1.3mg/m2	sc/iv	緩徐に	day1.8 15.22
アルケラン	6mg/m2	po	–	day1-4
プレドニン	40mg/m2	po	–	day1-4
備考				
アルケラン食前				

レジメン名称	【再発難治】D-Ld療法 (1-2サイクル目)			
癌腫	多発性骨髄腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	カロナール/アセリオ ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラザレックス	16mg/kg	div	適宜	day1.8 15.22
デカドロン/デキサート	20mg/body	po/div	–	day1.2.8.9 15.16.22.23
レブラミド	25mg/body	po	–	day1-21
備考 ダラザレックス投与開始1時間前にカロナール/アセリオ→デキサート・ポララミン投与。レブラミド腎機能・毒性に応じて調節				

レジメン名称	【再発難治】D-Ld療法 (3-6サイクル目)			
癌腫	多発性骨髄腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	カロナール ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラキユーロ	1800mg/body	sc	3-5min	day1.15
デカドロン	20mg/body	po	–	day1.2 15.16
デカドロン	40mg/body	po	–	day8.22
レブラミド	25mg/body	po	–	day1-21
備考 ダラキユーロ投与開始1時間前にカロナール・ポララミン・デカドロン投与。レブラミド腎機能・毒性に応じて調節				

レジメン名称	【再発難治】D-Ld療法 (3-6サイクル目)			
癌腫	多発性骨髄腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	カロナール/アセリオ ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラザレックス	16mg/kg	div	適宜	day1.15
デカドロン/デキサート	20mg/body	po/div	–	day1.2 15.16
デカドロン	40mg/body	po	–	day8.22
レブラミド	25mg/body	po	–	day1-21
備考 ダラザレックス投与開始1時間前にカロナール/アセリオ→デキサート・ポララミン投与。レブラミド腎機能・ 毒性に応じて調節				

レジメン名称	【再発難治】D-Ld療法（7サイクル目以降）			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	カルナール ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラキユーロ	1800mg/body	sc	3-5min	day1
デカドロン	20mg/body	po	–	day1.2
デカドロン	40mg/body	po	–	day8.15.22
レブラミド	25mg/body	po		day1-21
備考 ダラキユーロ投与開始1時間前にカルナール・ポララミン・デカドロン投与。レブラミド腎機能・毒性に応じて調節				

レジメン名称	【再発難治】D-Ld療法（7サイクル目以降）			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	カロナール/アセリオ ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラザレックス	16mg/kg	div	適宜	day1
デカドロン/デキサート	20mg/body	po/div	–	day1.2
デカドロン	40mg/body	po	–	day8.15.22
レブラミド	25mg/body	po		day1-21
備考				
ダラザレックス投与開始1時間前にカロナール/アセリオ→デキサート・ポララミン投与。レブラミド腎機能・毒性に応じて調節				

レジメン名称	【未治療】D-Ld療法（1-2サイクル目）			
癌腫	多発性骨髓腫		1コース期間	28日間
総コース数	-		プレメディケーション	カロナール/アセリオ ポララミン
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラザレックス	16mg/kg	div	適宜	day1.8 15.22
デカドロン/デキサート	20mg/body	po/div	-	day1.8 15.22
レブラミド	25mg/body	po	-	day1-21
備考 ダラザレックス投与開始1時間前にカロナール/アセリオ→デキサート・ポララミン投与。レブラミド腎機能・毒性に応じて調節				

レジメン名称	【未治療】D-Ld療法（3-6サイクル目）			
癌腫	多発性骨髄腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	カロナール/アセリオ ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラザレックス	16mg/kg	div	適宜	day1.15
デカドロン/デキサート	20mg/body	po/div	–	day1.15
デカドロン	40mg/body	po	–	day8.22
レブラミド	25mg/body	po	–	day1-21
備考				
ダラザレックス投与開始1時間前にカロナール/アセリオ→デキサート・ポララミン投与。レブラミド腎機能・毒性に応じて調節				

レジメン名称	【未治療】D-Ld療法（7サイクル目以降）			
癌腫	多発性骨髄腫	1コース期間	28日間	
総コース数	–	プレメディケーション	カロナール/アセリオ ポララミン	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダラザレックス	16mg/kg	div	適宜	day1
デカドロン/デキサート	20mg/body	po/div	–	day1
デカドロン	40mg/body	po	–	day8.15.22
レブラミド	25mg/body	po		day1-21
備考				
ダラザレックス投与開始1時間前にカロナール/アセリオ→デキサート・ポララミン投与。レブラミド腎機能・毒性に応じて調節				

レジメン名称	ボルテゾミブ単独療法			
癌腫	多発性骨髓腫	1コース期間	21日間	
総コース数	-	プレメディケーション	-	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ボルテゾミブ	1.3mg/m2	sc/iv	緩徐に	day1.4.8.11
備考				
8コースを超える場合は、上記の投与スケジュールで投与を継続刷するか、維持療法へ以降。				

レジメン名称	ボルテゾミブ単独療法			
癌腫	多発性骨髓腫		1コース期間	35日間
総コース数	-		プレメディケーション	-
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ボルテゾミブ	1.3mg/m2	sc/iv	緩徐に	day1.8 15.22
備考				